

氏 名：妹尾 祥子
学位の種類：博士（看護学）
学位記番号：甲第 227 号
学位授与年月日：2022 年 9 月 20 日
学位授与の要件：学位規則第 4 条第 1 項該当
論文審査委員：主査 中山 和弘（聖路加国際大学教授）
副査 片岡 弥恵子（聖路加国際大学教授）
副査 青木 美紀子（聖路加国際大学准教授）
副査 有森 直子（新潟大学大学教授）

論文題目：出産場所の選択における意思決定ガイドの効果：意思決定の葛藤に関するランダム化比較試験

博士論文審査結果

女性は、妊娠が判明後、分娩施設の情報や口コミなど、インターネットや雑誌に点在する多くの情報に触れる機会が予測される。しかし、出産場所の選択を支援する観点から作成されたツールはなく、意思決定の支援が十分にできているとは言い難い。納得した意思決定のためには、病院・診療所、院内助産、助産院、自宅の 4 つの場所の違いを知るために必要な基本的な出産及び出産場所の知識を提供し、それぞれの特徴や環境を説明し、妊婦自らが選択したと思える意思決定ガイドの開発が求められる。そこで、本研究は、Web を活用した分娩場所選択のための意思決定ガイドを開発し、その効果を検証することを目的とした。

研究デザインは、経産婦を対象とし、意思決定ガイドの使用の有無により 2 群に割付けて比較をするランダム化比較試験であった（分析対象者は、各群 238 名）。プライマリアウトカムは、意思決定に関する葛藤とし、セカンダリアウトカムを意思決定に対する納得、分娩場所に関する知識、出産に対する態度、意思決定の好み、希望する出産場所とした。その結果、意思決定の葛藤の評価尺度である Decisional conflict Scale の合計得点の変化量の平均の差は 2 群間で有意な差が認められた。

審査で指摘された主な点は以下の通りである。

- ① サブグループ解析において、学歴と介入の有無、視聴時間と介入の有無の交互作用の分析を行うこと
- ② 出産場所の選択肢が多くない地域の女性への本研究の意思決定ガイドの位置づけについて加筆すること
- ③ 意思決定の好みおよび当事者意識、希望する分娩場所に関する検定を行うこと

- ④ 本研究の対象者の葛藤の高さについて記述し、集団の特性に関する考察を追加すること
- ⑤ 研究への同意および、データ収集方法について、分かりやすく記述すること
- ⑥ 居住地域を限定した理由について加筆すること

これらの指摘に対して、適切に修正されたことを全審査員が確認した。本研究は、博士論文に至るまで3つの予備研究を行い、段階を踏んで取組んだ研究であり、Web による特性を活かした動画を含む意思決定ガイドを作成した点、出産場所選択に関する意思決定支援の研究に寄与する点で評価された。

以上により、本論文は、本学学位規程第5条に定める博士（看護学）の学位を授与することに値するものであり、申請者は看護学における研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。